● 課題②: 設計コンセプトを踏まえた建築計画

・配置計画・平面計画・断面計画等の具体的な建築計画

「豊かな自然を体感する空間構成」「多彩な居場所づくり」「地域交流」により、多様な学びを実践できる学校

1 配置計画 児童生徒の安心・安全を確保し、学校と地域をつなぐ明快なゾーニング

❶ **歩車分離の徹底**：歩行者動線と車両動線を明確に分け、子ども達の安全に配慮します。

❷ **敷地高低差に配慮した昇降口**：２つの屋外運動場には高低差があるため、１, ２階それぞれに昇降口を設け、アクセス性を高めます。

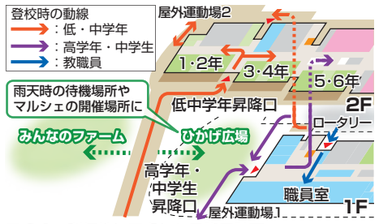


図 2-1：利便性に配慮した昇降口計画

❸ **ひかげ広場**：１階昇降口前に広いピロティ空間を設け、雨天時の運動や地域イベント、災害時の避難場所などに利用可能な半屋外空間とします。

❹ **ゆすの木モール**：図書室と屋内運動場の間に子ども達と地域住民が交流できる木屋根のモールを整備します。

図 2-2：配置イメージ

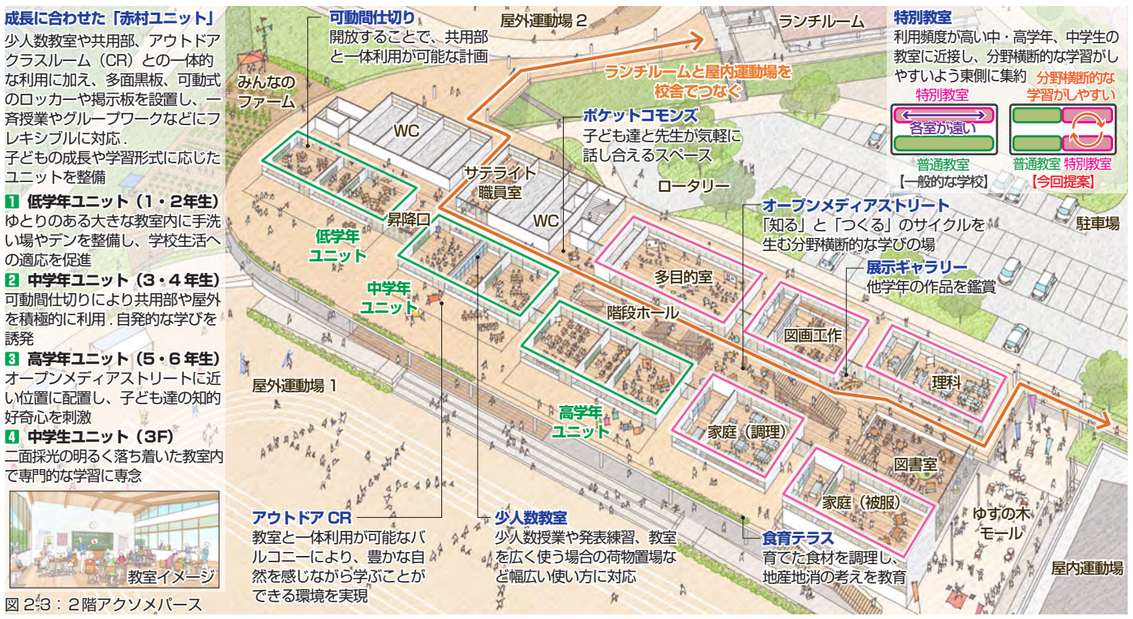


図 2-3：２階アクソメパース

2 平面計画 児童が自由に居場所を選択し、主体的で対話的な深い学習ができる集落型の平面計画

❶ **地域の景観に寄り添う集落型平面計画**：教室を分節配置して、吹抜のある共用部でつなぎます。室内でも自然の光や風を感じられる一体的な平面とします。

❷ **地域交流図書室の実現**：専用出入口やセキュリティラインを明確に計画し、学校利用と地域開放を両立できる計画とします。キッズコーナーや調べ学習スペースを設け、学校と地域の知的交流の拠点となる図書室とします。

❸ **オープンメディアストリート**：図書室へとつながる廊下を拡張させて、オープンなメディアスペースとします。小学生フロアと中学生フロアに各年代に応じた書籍を置き、知的好奇心を高める高度な学習空間とします。

❹ **特別教室の集約**：特別教室とオープンメディアストリートを校舎東側に集約し、分野横断的な学習（STEAM教育）を誘発します。

図 2-4：階段ホールとオープンメディアストリート

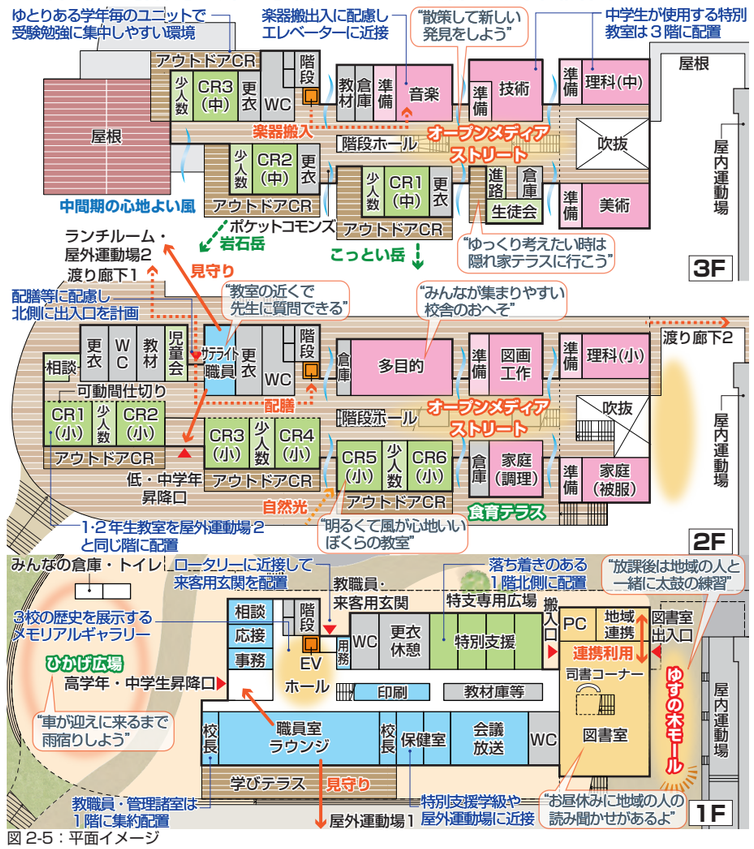


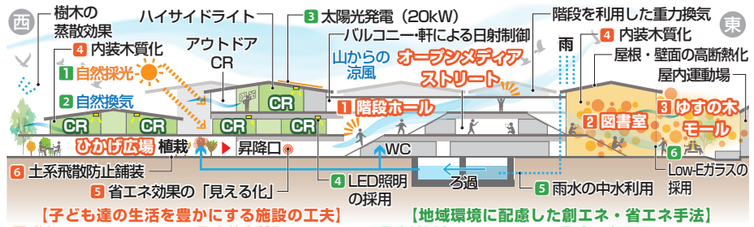
図 2-5：平面イメージ

3 断面計画 児童生徒と地域の絆を育む断面計画 / 赤村の自然の恵みを活かした " エコスクール "

❶ **交流を促進する吹抜空間**：開放的な吹抜や大階段を中心に、小学生と中学生、子ども達と地域住民の交流を促進する断面計画とします。

❷ **効率的な階高設定**：２階レベルでランチルーム、屋外運動場、屋内運動場をフラットにつなぐ構成とします。１階レベルは既存中学校と合わせ、造成を最小限とする経済的な計画とします。

❸ **環境配慮を徹底した「エコスクール」**：建築・設備の両面から学校の特性を活かした省エネ手法を採用します。



【子ども達の生活を豊かにする施設の工夫】

1 階段ホール
異学年交流を誘発する子ども達のメイン動線

2 図書室
子ども達と地域住民をつなぐ３層吹抜けの空間

3 ゆすの木モール
新しい学校を象徴する、図書室と一体利用が可能な半屋外空間

4 内装木質化
子ども達の主な生活空間である教室や図書室を木質化

5 省エネ効果の見える化
太陽光発電量の見える化を行い、環境意識を向上

6 土系飛散防止舗装
飛散が少ない舗装により子ども達の健康に配慮

【地域環境に配慮した創エネ・省エネ手法】

1 自然採光
方位に応じて、ハイサイドライトやバルコニーを設置し、安定した採光を確保

2 自然換気
中間期の山からの涼風を積極的に取り入れ、重力換気により自然換気を促進

3 高効率器具の採用（LED等）
省エネ効果の高い器具の選定

4 太陽光発電（20kW）
得られた電力は、学校内の電力源として利用

5 雨水の中水利用
便所洗浄や植栽の散水利用、災害時は飲適ろ過で飲料水の確保を検討

6 Low-E ガラスの採用
日射負荷抑制として利用

図 2-6：断面イメージ